



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674
2008年12月14日 No.644

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>

このニュースへの
「意見や質問を
お寄せください」



品川区
長期計画

巨大ビル建設を加速

「国際都市」看板に環境破壊!



品川区の今後10年間の「第4次長期計画」策定へ、区の提案を受けて議論を進めてきた策定委員会は、今月25日に答申を予定しています。「国際都市品川」を看板にする長期計画(案)ですが、くらし・福祉はそっちのけで大規模再開発を推進する計画です。

長期計画案は、羽田空港の拡張にもなう国際線の拡充、東海道新幹線の品川駅停車により国際都市としてのポテンシャルが一層高まってきているとして「魅力的な市街地の整備を推進」と強調。具体的な内容として「都市生活活性化拠点の形成」と銘打った五反田、大崎、大井町、天王洲での再開発。「地域生活拠点の形成」として武蔵小山駅周辺、西五反田三丁目、品川シーサイド駅周辺、目黒駅前地区などで住宅・商業施設、民間開発を誘導するというもの。

さらに、民間事業者など「様々な担い手による地域管理」という手法での開発推進と幹線道路の整備促進と、大規模開発を拡大し加速するものです。

超高層ビル

ゲリラ豪雨の原因と。環境改善は焦眉の課題

「国際都市品川」を看板に巨大ビル建設を加速する長期計画(案)。大企業の利益のために莫大な税金を使うだけではありません。大規模開発を優先する品川区政は環境を破壊し、福祉・くらしも壊しています。

今年8月、豊島区の下水管工事現場の地下マンホール内で作業員5人が水に流される死亡事故が発生しました。狭い範囲で短時間に猛烈な雨が降る、予測が困難な「ゲリラ豪雨」による被害でした。

最近の研究で都心部のゲリラ豪雨と巨大ビル群の関係が明らかになってきています。首都大学東京の高橋教授らが今年5月、

都内の豪雨が超高層ビルに起因すると発表しました。ヒートアイランド現象のなかで高層ビルにぶつかった風が上昇気流を生させ、短時間で積乱雲を形成し集中豪雨になるといわれています。あわせて、今後は臨海部の開発により風下になる品川区で豪雨が多発する恐れがあると指摘しています。

06年度の東京都資料では23区内の高層建築物は884棟、品川区内は62棟にのぼります。一方、気象庁は東京の平均気温は100年間で3度上昇、中小都市の三倍の速さでヒートアイラ

<大規模開発を区内各所に拡大、推進>

- 都市活性化拠点として
五反田、大崎、大井町、天王洲で開発を促進。
- 地域生活拠点として
武蔵小山駅周辺、西五反田三丁目、品川シーサイド駅周辺、目黒駅周辺の開発を促進。
- 幹線道路として
都市計画道路補助29号線・31号線の計画を促進。

福祉・くらしより

長期計画(案)

大規模開発を推進

<福祉は目標も区の責任も不明確>

- 特養老人ホーム・認知症グループホームは増設方向は明記されたものの目標数なし。
- 老人保健施設は区自身の設置でなく、民間の設置を支援するのみ。
- 認可保育園は増設計画なし。受け入れワク拡大は民間の認証保育園の活用が中心。



困り時は
お気軽に
ご相談ください
みやさき克俊事務所
Tel 378616674

06年度の東京都資料では23区内の高層建築物は884棟、品川区内は62棟にのぼります。一方、気象庁は東京の平均気温は100年間で3度上昇、中小都市の三倍の速さでヒートアイラ

長期計画(案)は、大規模開発をいっそう推進するものですが、超高層ビルが大量のエネルギーを消費、車の流入などによりC

02を増加させています。ゲリラ豪雨の原因と指摘される大規模開発をこのまま続けたらヒートアイランド現象や地球温暖化への負荷をいっそう高め、取返しのつかない事態になってしまいます。大規模開発を抜本的に見直し、緑化の推進にこそ本腰を入れるべきです。